

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金 市街地整備） 事後評価書

平成31年 2月 1日

計画の名称	新方川、会之堀川流域における浸水被害軽減プラン																															
計画の期間	平成28年度～平成29年度（2年間）			重点整備期間（平成37年度まで）	交付対象	春日部市																										
計画の目標	下水道整備（浸水対策）（100mm/h安心プラン）により浸水被害の軽減を図り、安全で快適な生活環境を維持することを目的とする。																															
計画の成果目標（定量的指標）	① 浸水被害軽減のための雨水ポンプ場の改築に着手し、対象排水区の床上浸水被害の解消と、浸水エリアの縮小を図る。																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H28当初)</th> <th>(H28末)</th> <th>(H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① シミュレーション（H20.08豪雨）による浸水家屋総戸数（床上、床下浸水戸数の合計） 整備後の浸水被害総戸数／当該排水区域における整備前の浸水総被害戸数（117戸）</td> <td>計画：100.0% 実績：100.0%</td> <td>計画：100.0% 実績：100.0%</td> <td>計画：5.1% 実績：5.1%</td> <td>目標戸数 床上2戸→0戸 床下115戸→6戸</td> </tr> <tr> <td>② シミュレーション（H20.08豪雨）による当該排水区（60.7ha）の浸水面積 浸水被害面積／当該排水区域面積（60.7ha）</td> <td>計画：13.3% 実績：13.3%</td> <td>計画：13.3% 実績：13.3%</td> <td>計画：6.4% 実績：6.4%</td> <td>浸水面積8.1ha→3.9ha</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H28当初)	(H28末)	(H29末)	① シミュレーション（H20.08豪雨）による浸水家屋総戸数（床上、床下浸水戸数の合計） 整備後の浸水被害総戸数／当該排水区域における整備前の浸水総被害戸数（117戸）	計画：100.0% 実績：100.0%	計画：100.0% 実績：100.0%	計画：5.1% 実績：5.1%	目標戸数 床上2戸→0戸 床下115戸→6戸	② シミュレーション（H20.08豪雨）による当該排水区（60.7ha）の浸水面積 浸水被害面積／当該排水区域面積（60.7ha）	計画：13.3% 実績：13.3%	計画：13.3% 実績：13.3%	計画：6.4% 実績：6.4%	浸水面積8.1ha→3.9ha
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																													
	(H28当初)	(H28末)	(H29末)																													
① シミュレーション（H20.08豪雨）による浸水家屋総戸数（床上、床下浸水戸数の合計） 整備後の浸水被害総戸数／当該排水区域における整備前の浸水総被害戸数（117戸）	計画：100.0% 実績：100.0%	計画：100.0% 実績：100.0%	計画：5.1% 実績：5.1%	目標戸数 床上2戸→0戸 床下115戸→6戸																												
② シミュレーション（H20.08豪雨）による当該排水区（60.7ha）の浸水面積 浸水被害面積／当該排水区域面積（60.7ha）	計画：13.3% 実績：13.3%	計画：13.3% 実績：13.3%	計画：6.4% 実績：6.4%	浸水面積8.1ha→3.9ha																												
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	計画：536百万円 実績：419百万円	A	計画：536百万円 実績：419百万円	B	0円	C	0円	D	0円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																				

事後評価—(中間評価)—

○事後評価—(中間評価)—の実施体制、実施時期	
事後評価—(中間評価)—の実施体制	事後評価—(中間評価)—の実施時期
春日部市公共事業評価監視委員会	平成31年 2月 1日 公表の方法 春日部市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

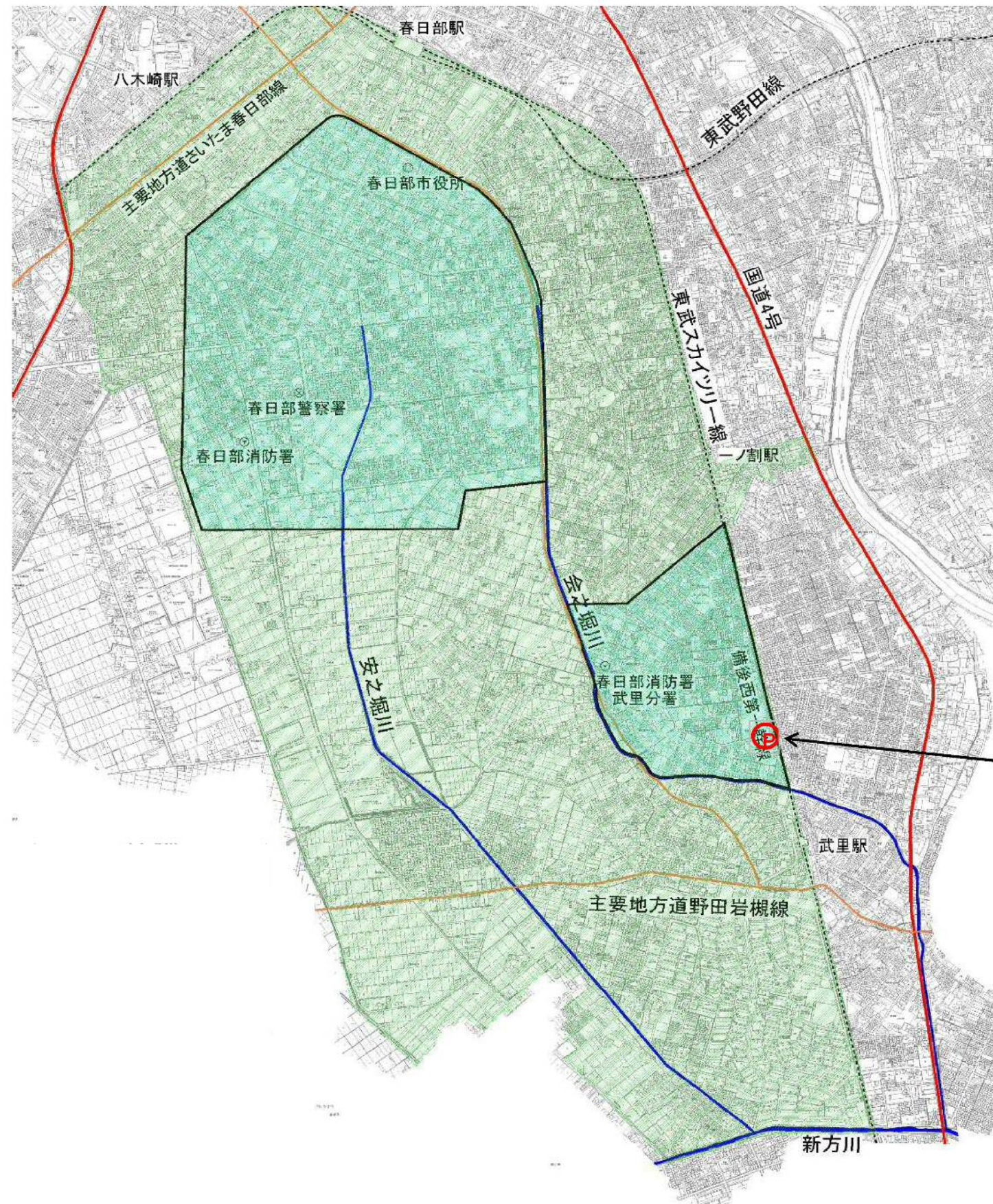
交付対象事業																
A1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費（百万円）	備考
											H28	H29				
A-1	下水道	一般	春日部市	直接	春日部市	雨水	新設・増設	ポンプ場整備（増設）（備後西ポンプ場）	水中ポンプ2基、ポンプ井、流入渠、放流渠、電気・機械設備	春日部市					計画：536 実績：419	100mm/h 安心プラン
合計											計画：536 実績：419					
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費（百万円）	備考	
										H28	H29					
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費（百万円）	備考	
										H28	H29					
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費（百万円）	備考	
										H28	H29					
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		備後西ポンプ場を改築し、現況の容量0.36m ³ /sに対して1.44m ³ /sに増強した。その結果、備後西排水区において次の効果が発現した。 <ul style="list-style-type: none"> ・床上、床下浸水被害戸数が整備前の約1/20に減少する見込みである（117戸→6戸） ・浸水被害面積が整備前の約1/2に減少する見込みである（8.1ha→3.9ha） 		
II 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	5.10%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	5.10%	
	指標②	最終目標値	6.43%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	6.43%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項 (今後の方針等)				
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も安全で快適な生活環境を維持できるよう、100mm/h安心プランで計画されている安之堀川の河道整備、および大沼排水区内の管渠整備ならびに貯留施設の整備を引き続き実施する。 ・備後西排水区の浸水被害戸数および浸水被害面積についてはシミュレーションにて算出した。 				

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	新方川、会之堀川流域における浸水被害軽減プラン			
計画の期間	平成28年度 ~ 平成29年度 (2年間)	重点整備期間 (平成37年度まで)	交付対象	春日部市



凡例	
—	河川
—	国道
—	主要地方道
- - -	鉄道
—	排水区域界

A-1 ポンプ場整備(増設)